



監督◆インタビュー

監督

ランコ ポポヴィッチ

RANKO POPOVIC

プロフィールは
こちらをクリック!

--シーズンは早いもので、今節の熊本戦で1巡目の対戦が終わります。ここまでを総括していただけますか。

「スタートダッシュはできたと思います。シーズンの序盤は、我々がやりたいことや発揮したいことを実践しながら、勝ち点を積み重ねることができました。その後は好不調の波があり、安定した戦いをできませんでした。連係を取れるようになり、良い競争もできていましたが、次第に新たな戦い方を模索しなければなりません。ただチーム全体がインテンシティーの高さを発揮できている時は何も問題がありません」

--熊本の印象は？

「大木(武)さんのことは以前からリスペクトしていますし、日本の監督さんの中でイビチャ オシムさんの匂いを感じる唯一の方が大木さんでもあります。人が入れ替わりながらボールを動かして前進してくることにその匂いを感じますし、決してオシムさんのコピーをしているわけではありません。オシムさんから影響を受けた部分もあるのではないのでしょうか。大木さんは熊本で3年間監督をされていますし、飛び抜けた選手はいないですが、個の特長も理解した上で、チームに合った選手で編成されているため、安定して戦えているのかなと思います」

--熊本が昇格組であることは頭に入れずに戦った方が良いでしょうか。

「それは順位表(熊本は8位)を見れば分かるでしょう。相手のことを格下と見てはいけません。逆に言えば、他のチームが我々と戦う時は、町田を倒そうというモチベーションに繋がっていると思います。千葉、長崎、大分…。ベストゲームを我々にぶつけてきたチームがいくつあったか。我々自身が一歩前進しないと、ベストの試合をぶつけてくるチームを打ち破ることはできません。昨季並みのインテンシティーで臨めている試合は決して相手に劣ってはいませんし、試合の立ち上がりに緩く入ってしまった試合は結果が付いてきていません。熊本戦で大事にすべきことは、それが答えです」

--熊本戦はホームゲームです。ファン、サポーターの皆様へメッセージをお願いいたします。

「天皇杯の岩手戦と前節の大分戦の前半は皆様に借りを作ったような状況です。全てを出しきったとは言えない試合になりました。結果だけではなく、全力を出しきる姿勢を熊本戦では見せなければなりません。結果はそこに付いてくるものです。まずは全力で戦う姿勢を皆様にお見せして借りを返し、お互いに刺激し合いながら良いゲームをお見せしたいと思います」

FC MACHIDA ZELVIA Official MATCHDAY PROGRAM DIGITAL

FC町田ゼルビアと、共に。
CLUB
ZELVISTA
オフィシャルファンクラブ
クラブゼルビスタ 2022
シーズンシート

シーズンシート
クラブゼルビスタ2022
会員募集中!

